必ずお読みください

Entrage 玄関収納 エントレージ
取扱説明書

NANKAI 南海プライウッド株式会社
本社　〒760-0067　香川県高松市松福町1-15-10

北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-3631	FAX(087)825-3659
特需営業グループ	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
営業開発グループ	TEL(087)825-3651	FAX(087)806-3640

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。
間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書に従わず取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

安全上のご注意

製品の品質劣化や人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

必ずお守りください

誤った取り扱いをした時に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠注意	傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容です。

お守りいただく内容を図記号で説明しています。（下記は図記号の例です）

⊘	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

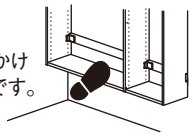
⚠注意

禁止

● 製品の上には乗らない。

棚板の落下や扉の外れなどにより、けが・死亡事故につながるおそれがあります。

⊘ 製品に足をかけるのも禁止です。



● ハンガーパイプやスライドハンガーにぶらさがったり、耐荷重の目安以上の重量物を吊るさない。

ハンガーパイプが破損したり、落下してけがをするおそれがあります。
（裏面「耐荷重の目安」をご参照ください）

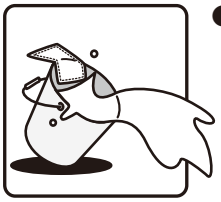
● 樹脂棚板・地板・プッシュラッチ棚板・固定棚板に耐荷重の目安以上の重量物を置かない。

重量物を置くと棚板が変形・破損したり、落下してけがをするおそれがあります。

必ず守る

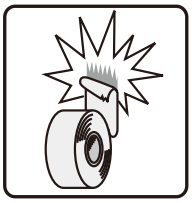
● 耐荷重の目安を必ず守る。
（裏面「耐荷重の目安」をご参照ください）

ご使用上のお願い



● 製品に直接に水をかけない。

表面化粧のはがれや反りの原因となります。
※樹脂棚板はとりはずして水洗いができます。
（ただし、必ず乾燥させてから取り付けてください。）



● 粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）は貼らない。

表面に粘着跡がのこるおそれがあります。

● 傘・レインコートなど濡れた状態で収納しない。

表面化粧のはがれや反りの原因となります。
必ずよく乾燥させてから収納してください。

お手入れ

● 日常のお手入れ方法
乾いた柔らかい布で乾拭きする。

● 汚れがひどい場合
中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、堅く絞って拭き取り、良く乾燥させる。

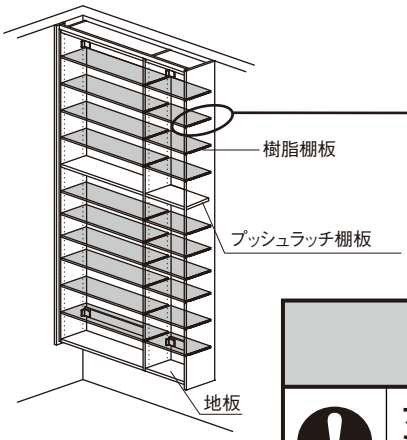
● 樹脂棚板のお手入れ方法
水洗いをした後、しっかりと乾燥させる。

● 換気をする。

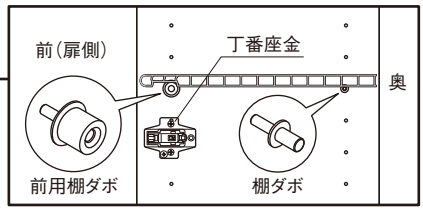
収納内部には湿気がこもりがちになり、結露やカビの発生原因となるため、時々内部の収納物を出し、充分な換気を行なってください。

樹脂棚板の取付方法

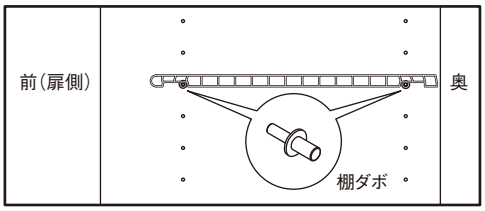
側板・仕切板のシステム穴に棚ダボを取り付けます。



[D245] 前と奥で棚ダボの形状が異なります。



[D365] 前後とも同形状です。



⚠注意

必ず守る

プッシュラッチ棚板や地板の位置を変えたり、取り外したりして使用しない。

樹脂棚板の落下によりけがをするおそれがあります。

ご注意

- D245タイプの扉はスライド丁番と棚ダボの取り付けに同じ列のシステム穴を共用するため、丁番座金の位置を避けて取り付けてください。
- D245タイプの場合、前と奥の棚ダボを間違えないように気をつけてください。前と奥の棚ダボを間違えると樹脂棚板が傾き、フラットな設置ができません。

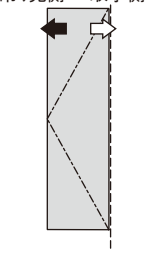
開戸位置の調整について

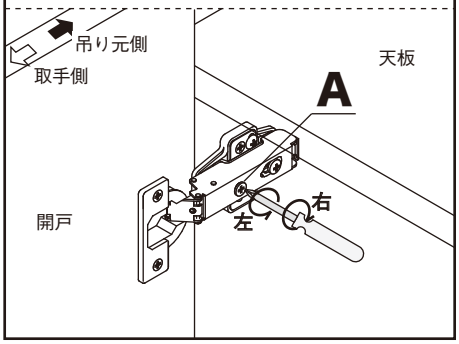
① 開戸のゆがみ・左右の位置を調節

下図**A**に示すネジを左右に回して、開戸の左右の位置を調節してください。

ネジを**右回し**
➡ 開戸は**吊り元側へ移動**

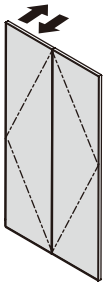
ネジを**左回し**
⇨ 開戸は**取手側へ移動**

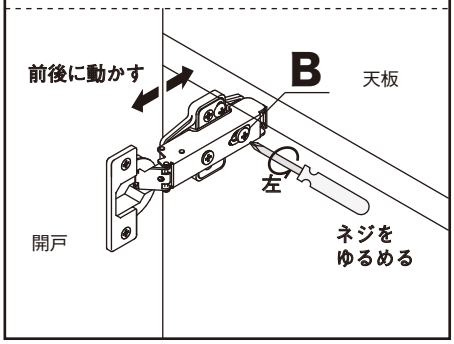




② 開戸と本体の隙間を調節

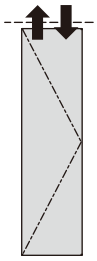
下図**B**に示すネジを左に回してゆるめ、開戸を前後に動かして調整し、ネジを締め直して固定してください。

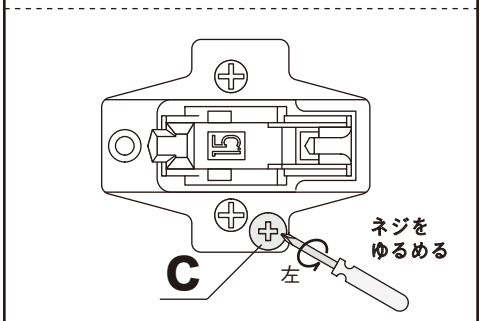




③ 開戸の上下を調節

下図**C**に示すネジ(丁番座金にあります)を左に回してゆるめ、開戸を上下に動かして調節し、ネジを締め直して固定してください。





耐荷重の目安

数値は目安値であり、品質保証値ではありません。

パーツ	耐荷重の目安値
地板・プッシュラッチ棚板	**30kg**
樹脂棚板	**3kg**
固定棚板	**30kg**
上吊ハンガーパイプ	**30kg** ※
スライドハンガー	**5kg**

パーツ	耐荷重の目安値
6連フック	**2kg**
傘ラック	**2kg**
スリッパラック	**2kg**

収納全体に対する荷重
最大 **180kg**まで

※ ハンガーパイプに物を吊り下げる場合、プッシュラッチ棚板・固定棚板の上に載せる物の重さと合計して30kg以内になるようご注意ください。